



第560号

学校だより

11月号

横浜市立東本郷小学校
令和5年10月30日

人にやさしくありがとうの心で がんばるがんばる最後まで 本気で取り組むひがほんの子

子どもたちの力を信じて

学校長 堂腰 康博

学校全体が湧き上がる感動に包まれた「ヒガホン大運動会」。半日での開催ではありましたが、全力で取り組む子どもたちの姿を存分に観ていただくことができたと思っております。みなさま温かいご声援をありがとうございました。

ご家庭におかれましては、体育着や水筒の準備、体調の管理等、支えてくださり本当にありがとうございました。また、PTA役員の方々には、素敵な参加賞（パンダナ）等の事前準備、運営や片付け等、最後までお力添えをいただきましたことに、教職員一同心より感謝しております。

大観衆の前で臆することなく見事なパフォーマンスを見せた各学年の演技や競技、団長を中心に最後までとぎれなかった応援団の声援と呼応、開閉会式の進行を含めて、それぞれの係の仕事をやり遂げ、役割や責任を果たそうとする子どもたちの姿。今にして思えば、その全てが一瞬の出来事のような気がします。どの学年の子たちも「一生懸命やること」は自分たちを大きく成長させ、周りの人を感動させることができる、ということを学んだことと思います。

小学校生活最後の運動会を終えた6年生が「自分づくりパスポート」（成長したことを自分の中で自覚できるように書き記しておくもの）に、次のように記述していました。

「今回の運動会を通して、他学年との交流を深めることは、お互いに楽しい気持ちになり笑顔につながると分かったので、これからも協力し合って東本郷小を笑顔いっぱいにしていきたい。」運動会は終わりましたが、そこに込められた願いは「そして、次へ」と続いていきます。

秋晴れが続く10月の下旬、東本郷小学校の校庭では、ペア学年での交流を楽しむ「スマイル・ウィーク」が始まりました。これは児童会による自発的・自治的な活動で学年やクラスが異なる子ども同士が遊びを通して豊かに関わり合い、たくさんの人と仲良くなることを目指したもので、数か月も前から子どもたちが決めて、準備してきた新しい取組です。

上の学年の子は、オリジナルの遊びを考え、工夫して運営することで自分らしさを発揮できる場になっています。下の学年の子は、上級生からルールや協調性を学んでいます。様々な年齢の子どもたちが混じり合い「みんなと一緒に何かをするのって、楽しい。」「自分たちの力でもっともっと学校は面白くなる。」が実感できるように、遊びが終わったあとの「振り返りの見える化」も工夫して実践しています。

子どもたちの企画力と実行力は、天晴（あっぱれ）の域ですが、その背景には教職員間の連携や子どもたちの力を信じる「まなざし」があります。11月5日（日）に実施される「ひがほん郷まつり」でも「できたらいいな！」を叶えるために挑戦する子どもたちの姿が披露されます。周りの人たちのために、将来の自分のために地域行事の中でも活躍する本校の子どもたちを、ぜひとも応援していただければ嬉しいです。



異年齢での遊びを通して緩やかに
つながり合う子どもたち

10月14日 ヒガホン大運動会

4年ぶりに全校児童が揃って行った運動会。今年は、6年生全員が係の仕事を行いながら実施しました。また、得点を競い合い、勝利に向かって熱く取り組んだ半日でした。

1年 ヒガホンパワフルランド～巻き起こせポンポンエレクトリカルパレード～



クラスや学年で練習をして重ねていきました。小学生になっての初めての運動会でしたが、ダンスの動きや体型移動など新しいことをどんどんと吸収してく様子が見られました。練習を積み重ねていくごとに自信をつけていき、当日にも笑顔で楽しそうに踊ることができ、大成功の演技でした。

2年 スマイル三原色

クラスカラーのバンダナを使って踊りました。練習では、不安な様子も見られましたが、本番の演技後には、「最後まで堂々と踊ることができた。」や「本番が1番うまく踊れた。」と達成感を得ることができました。



3年 開幕宣言～えがおのちからでレッツフラッグ～



3年生の学年目標は「えがおのちから」。運動会でも、笑顔いっぱい堂々と演技をすることができました。曲のリズムに合わせてフラッグを大きく振り、体全体を使うことを意識して踊りました。

4年

心を一つに！ジャンプロープ♪



曲のリズムに合わせて跳ぶのは難しかったけれど、練習を重ねていくにつれて跳べるようになってきました。休み時間にも練習して、跳べるようになった技が増えました。

5・6年

ヒガホンソーラン2023

5年生にとって初めてのソーラン節。6年生とグループをつくり、動きやコツを教えてもらいながら何度も練習をしました。「初めてのソーラン節をしっかり覚えるために休み時間も練習を繰り返した。本番はバッチリ踊ることができて嬉しかった。すでに来年のソーラン節へのやる気いっぱいだ。」と練習の成果を発揮することができました。



5年生とソーラン節と一緒に踊って、絆が深まったと思います。それは、ソーラン節の学習のときに5年生とグループをつくり、6年生がコツを伝えたり練習を一緒にしたりしたからです。6年生もやったことのない最初の踊りもあり、上手く踊れるか心配でしたが、本番では、みんなが心を一つにして、全力でヒガホンソーラン2023を踊ることができました。

リレー



バトンの受け渡しの練習を毎日のように繰り返し、一秒でも速くゴールできるようにと努力していました。短期間でも深まった4・5・6年生の絆、様々な思いを背負って、本番ではいつも以上の力を発揮してくれました。

応援団



白組応援団長 応援団に入っているいろいろなことを体験できました。準優勝でしたが、とても楽しく、悔いのない運動会になりました。ありがとうございました。

赤組応援団長 みんなが一生懸命で、白熱した戦いが続き、最高の運動会になりました。赤組白組のみんなに言いたいことは、「人生は山あり谷あり、勝っても負けても笑顔を忘れないでほしい」ということです。